

# 光星2年ぶり甲子園



〒030-0180  
青森市第二開原町3丁目1番89号  
東奥日報社  
(C)東奥日報社 2014

インターネット  
号外

ご購入のお問い合わせは  
東奥日報社読者局



0120-46-5939

ヨム

コウドクサンキュー

24時間受付

## 粘る青森を振り切る



【決勝・青森―八学光星】3回裏、八学光星2死二塁、足立(右)の2点本塁打で3―3の同点

▽決勝

青森	0	3	0	1	0	0	0	2	
光星	0	0	3	0	1	0	4	0	X
									8 6

(青)久保澤、木村―飯田  
(光)中川―馬場

▽本塁打＝足立(光)

▽二塁打＝中村港2(青) 北條(光)

第96回全国高校野球選手権青森大会は24日、青森市営球場で決勝戦を行い、八学光星が青森を8―6で下し、2年ぶり7回目、春夏通算14回目の甲子園出場を決めた。

八学光星は3点をリードされる苦しい展開となったが三回、北條の左前適時打で1点を返すと、続く足立が右翼に2点本塁打を放ち追いついた。

4―4の同点で迎えた七回には、連打と死

球で1死満塁とチャンスを広げると、相手の一塁悪送球の間に走者3人が生還。さらに新井勝徳の犠飛で1点を加え、8―4と試合をひっくり返した。

投げては、主戦中川が14安打を打たれたものの、粘り強い投球で要所を締め、完投した。

青森は二回、適時打と失策絡みで3点を先制。九回にも2点を加える粘りを見せたが、及ばなかった。

詳細は朝刊で